

平成27年度 第3回飯田市行財政改革推進委員会 議事録

日時：平成27年11月24日（金）18：30～19：50  
場所：市役所 第2委員会室

出席者：佐々木会長、山崎委員、永田委員、木下（隆）委員、熊谷委員、佐々木（祥）委員  
細川委員、西塚委員、中島（修）委員、木下（秀）委員、森下委員、吉川委員  
中島（た）委員  
佐藤行財政改革推進本部本部長、総務部長、企画課長、財政課長、人事課長、事務局

1 開会（菅沼総務部長）

2 あいさつ

（佐藤本部長）

- ・飯田市行財政改革大綱の振り返りと次期飯田市行財政改革大綱に向けての議論となるのでよろしくお願ひしたい。忌憚のないご意見を伺い次につながる提言をいただきたい。

（佐々木会長）

- ・昨年度は公共施設マネジメントについて議論した。ご協力に感謝したい。本日は次期大綱に向けての積極的な議論をしたい。行革大綱の範囲は広いが、委員の方の得意分野の中でもそれぞれの立場で御意見をいただきたい。

3 協議事項

(1) 飯田市行財政改革大綱（H24～H28年度）の推進状況と次期に向けて

（説明：財政課長、人事課長）

～質疑応答～

（熊谷委員）

- ・行政サービスに係わる職員の対応に満足する市民の割合が67%。満足していない人が約3割いることについて市側はどのように考えるか。挨拶ができていない職員を見かけるが、このようなことがサービス低下につながっているのではないかと。来庁者に対しては案内等のサービスができていない。

→反省すべき事項である。挨拶ができない職員がいることは他でも意見として伺っている。原点に立ち返り行政サービスとは何かについて、3S運動を徹底し組織を整えサービス向上に努めたい。また地域活動にも積極的に参加するように伝えている。

信頼できると回答したのが67%であって、約3割が信頼していないとの回答ではないのでご理解願ひたい。（総務部長）

- ・職員研修に参加する目標数値は100%に近い数値にすべきではないか。
- 研修参加者の実績を見ながら効率的な研修を実施したい。（総務部長）

（吉川委員）

- ・研修参加者について、忙しい中で業務をしていることもあり67%の数値は理解したい。
- ・人件費適正化については、単に人件費が安ければよいという話ではなく、何らかの基準による評価も必要。定員適正化は定員が減少する話ばかりではなく、市民サービスが向上すれば市民評価も変わる。目標とする改革プランの中で工夫が必要では。

(中島(修)委員)

- ・休職者、年休取得日数、時間外勤務等の過去3年間をみると不健全な職場の数値であると捉える。メンタルヘルス疾患も関連し増加傾向にある。近年は業務内容も濃くなっているため、人数削減だけが適正化でないことを指摘したい。ワークライフバランスについても飯田市が率先して努力する必要があるのではないか。

(森下委員)

- ・介護職職員は少人数で多くの利用者の対応しているため大変心配である。特に夜間は数名で対応しているため大変ではないか。
- 介護については組織が異なるため採算に合うような人員体制である。基準に沿った人員配置で効率的な運営を目指している。(総務部長)
- ・平成26年度に野底山森林公園が指定管理者制度を導入した。施設利用料金の徴収など窓口管理も統一され施設管理ができてきていることはよい傾向である。

(山崎委員)

- ・いたずらに人員削減することが行財政改革ではないと思う。遠山地区では正規職員は机上業務、現場対応は臨時職員のため住民は臨時職員が一生懸命対応していると受け止めている。(正規職員は外に出ないため)正規職員と比較すると臨時職員は頑張っているイメージがある。全体として正職員が減員で臨時が増加しているため適正化ではないと考えるので検討願いたい。
- ・市民サービスは細部にわたり対応が求められ職員の資質向上が大切であると考えている。挨拶だけでなく、質問に対する確かな説明ができる職員が必要である。質問に対し即答が来ないことが多く、再度訪ねても以前の回答がないという事例がある。自治振興センターには適正な職員を配置し、質問等にも対応できるような態勢が必要。そのための訓練や研修も必要である。限られた人数ではあるが適正な職員配置と質の向上に配慮いただきたい。
- 次期行革大綱へ盛り込むため研究したい。(総務部長)
- ・上村デイサービスは4月から指定管理者制度を導入した。直営と比較すると収入は2倍になり利用者も大幅に増えた。送迎等も利用者一人一人に対応している。臨機応変な対応をしていることが利用者増につながっていると思う。民間は経営努力をしていると感じた。導入が可能な施設は指定管理制度を導入し実績を上げてもらいたい。

(西塚委員)

- ・補助金等の見直しについては、各団体の活動を考慮し減額しないようお願いしたい。
- 過去5年間予算額に変更がない補助金について、担当課においてその効果等検証することとしている。全て減額する意味でない。

(吉川委員)

- ・人口予測については、飯田市独自調査による予測を立て一定の基準でシュミレーションすれば完成できるので、自ら計算して根拠付けし飯田市で作成すべき。人口問題研究所の数値は毎回変更があり期待できない。飯田市としての要素を取り入れることにより、ほぼ正確な数値が現れリニア効果について加味すれば正確な施策が出来上がる。

(2) その他連絡事項

- ・次回に向けて議論するため、提言回答用紙に記入いただき期日までに事務局まで報告願いたい。(事務局)

4 その他（説明：事務局）

- ・議事録の作成及び公開について  
→ホームページで公開する。了承。
- ・次回開催予定  
時期 2月下旬予定  
内容 飯田市行財政改革大綱における改革プランほか

5 閉会（佐藤本部長）

- ・定員削減ばかりが行革でなくどのような形で取り組むか質的な向上について考え、飯田市らしい行革大綱を策定したい。
- ・民間活力についてはよい形で活用したいと考える。ただし飯田市の責任放棄にならないようなことが必要である。
- ・人口問題について、総合計画に向けた検討を飯田市独自で始めている。次回以降報告するので議論の参考にして議論を深めたい。